

パートナーシップ・トーク



ゆかわ
湯川 まゆみ

特定非営利活動法人 SEIN 代表理事

堺生まれ、堺育ち。大学時代、国際ボランティア活動にめざめる。大学卒業後、地域のNPOに触れ、市民活動の大切さを知り、2004年2月、堺市内を中心に市民活動を支援するNPOとして、特定非営利活動法人SEINを立ち上げ、4月より堺市との協働事業、堺市市民活動コーナーの運営を受託。2007年5月より、Community café Pangeaを運営。

地域の課題解決・理想実現のために協働を促進

「地域課題の解決、理想実現に向けて活動するNPOの社会的信頼を高めたい！」それが、私たちの思いです。

地域課題の解決、理想実現のためには、行政だけではなく、様々な主体との協働を推進するための環境づくりが、私たち中間支援組織にとっての役割の一つです。一方で、玉石混淆状態にあるNPOの中から「きちんと活動するNPO」に光を当てることも役割の一つだと考えていました。

そこで、「きちんと活動するNPO」が情報開示を積極的に行いやすくするための仕組みを作り、社会的信頼を高めることで、様々な主体との協働を促すためのプロジェクトを、南大阪(22市町村)で取り組みました。平成24年度は、南大阪公益ポータルサイト「南大阪 com*com」のサイト構築、情報開示力向上集合型研修の開催、南大

阪NPO白書(NPOこんなことができますリスト)の発行、について実施しました。

平成25年度には、「協働環境に関する調査—協働環境“活用度”調査」(IHOEが実施している「都道府県、主要市におけるNPOとの協働環境に関する調査—協働環境“活用度”調査」参考)を南大阪対象に実施し、それを元に議員勉強会を開催しました。

こういった取組により、さらなる市民からの寄附、企業との連携の促進など、NPOが持続可能な自立した活動を進めていく環境整備や、自治体の枠を超えた、様々な主体を巻き込んだネットワークが可能になります。

今後も地域の課題解決、理想実現に向けて、真摯に取り組み続けたいと思います。



いしがかのりこ
石坂 典子

石坂産業株式会社 代表取締役

1972年東京生まれ、創業者である父親の企業に入社。「社員が自分の子供も働かせたい」と言える企業創りを目指し、女性の感性と斬新な知性で様々な経営改革に取り組んでいる。「脱産廃!地産地消型のビジネスモデル創出」に挑戦し、業界を変革するユニークな女性経営者として注目を浴びている。

事業施設を地域の環境教育促進の場に

当社は、産業廃棄物の中間処理リサイクル業として、創業以来、従来生物と共生できる環境工場づくりや資源循環型製品の開発に取り組んでおり、平成25年3月1日に埼玉県から「体験の機会場の施設認定を得ました。施設は資源循環型社会や地球温暖化防止への理解を深める「プラント施設」、三富新田の地割と雑木林の役割や生物多様性保全について学ぶ「花木園」、昔の暮らしを体験する「三富今昔語りべ館」で構成され、「くぬぎの森環境塾」を運営しています。

地域に根付く企業として、当社には、業を生かして、地域の未来を担う輝く子どもたちの健全な発育と環境教育の促進を応援する、中間支援的な機能が期待されています。これに応えるため、単なる施設見学ではなく、みどり豊か

な自然の命の繋がり、地域に根差した伝統文化、人々の共存や多様な生き方について、“視て”“聴いて”“味わって”“嗅いで”“触れて”五感で体験・体感する、ハードとソフト資源を提供しています。来場者の気づきを促すため森林インストラクター等を案内役に仕立て、国際規格5統合マネジメントシステムOHSAS18001の運用で、施設の安全・安心性を高めました。

建設廃棄物処理現場の見学を通じた3R学習、雑木林を観察して自然の恵みや生き物と触れ合う自然体験、石臼で大豆を挽くキナ粉作りや三富民話の紙芝居を読む昔の暮らしの体験など、ESDを支援するプログラムも豊富です。

今後は地元農家と連携を図り、民泊しながら体験学習ができる場として拡充をしていく予定です。